

総合教育会議（令和6年度第1回） 会議録（議事要旨）

日時	令和6年5月28日（火）	16時10分～
場所	久留米市本庁舎20階	第3委員会室
出席委員	原口 新五（久留米市長）	
	井上 謙介（教育長）	江頭 理江（教育委員）
	内村 直尚（教育委員）	御厨 千秋（教育委員）
	富永 孝太朗（教育委員）	小田 まり子（教育委員）
事務局	重石 悟（教育部長）	松野 誠彦（総合政策部長）
	平田 敬一（教育部次長）	四ヶ所 清隆（教育監）
	江頭 信人（教職員課長）	笠 一生（教育センター所長）
	深堀 尚子（総合政策課長）	
	石橋 豊裕（教職員課人事管理担当課長）	田中 浩之（学校教育課長）
	東野 淳（学校教育課指導主幹）	古賀 友理子（学校教育課学務主幹）
	田中 佳幸（学校教育課人権・同和教育担当課長）	深田 将（学校保健課長）
	新村 敏（教育ICT推進課長）	岡 佐智代（教育ICT推進課指導主幹）
	大久保 貴（総合政策課政策調整官）	
報告者	日野 勝文（久留米市立鳥飼小学校校長）	
	西村 雄大（久留米市立諏訪中学校校長）	

1 開 会

事務局（開会宣告）

2 あいさつ

市長 久留米市長の原口でございます。
令和6年度第1回目の総合教育会議の開催に当たりまして、ご挨拶申し上げます。
本日は、鳥飼小学校の日野校長、諏訪中学校の西村校長にご出席いただいています。
せっかくの機会ですので、現場目線からの状況をお伝えいただき、学校運営の責任者としての立場からご意見をいただくことによって、実りある議論をしていきたいと思っております。
限られた時間ではございますが、教育委員の皆さまと積極的な意見交換をさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

① 学校教育の成果指標について—小中学校校長との意見交換—

事務局 それでは、議題①「学校教育の成果指標について」でございます。鳥飼小学校の日野校長、諏訪中学校の西村校長より、今年度の成果指標である①楽しい学校、②学力の保障と向上、③笑顔の先生についてお話しいただきます。

鳥飼小学校
日野校長（学校現場の状況報告）

- ① 楽しい学校について
各小学校とも子どもたちにとって安全・安心な居場所としての魅力ある学校づくりに努めており、毎月実施するアンケートで子どもたちの実態

把握を行い、担任及びチームで対応している。鳥飼小では、自尊感情を高める取組として、子どもたちそれぞれに学級内で役割を持たせ、学級活動や縦割り活動を行っている。

② 学力の保障と向上について

若年層の教員においても授業の型を身につけ、「子どもたちが分かる」という実感を持たせるため、令和2年度から全小学校で「くるめ授業スタンダード」に取り組んでいる。加えて、習熟度学習や補充学習、徹底反復学習を行い、子どもたちの基礎能力を上げている。それとともに個別最適な学び、みんなで課題を解決する協働的な学びにも取り組んでいる。

③ 笑顔の先生について

令和5年度に教育委員会と校長会が連携し、始業式の日程の見直しや、学校と保護者間の連絡のシステム化、通知表の様式の見直しなど、子どもたちのための働き方改革に取り組んだ。今年度も、現場の教職員に見える形で発信や取組を行い、教職員のモチベーション向上に繋げたい。私個人では、放課後に教室を訪問して教職員に労いと賞賛を行ったり、年齢層に応じた役割を持たせたりすることで、自尊感情を高めている。

事務局

続きまして、諏訪中学校の西村校長、よろしくお願いします。

諏訪中学校
西村校長

(学校現場の状況報告)

① 楽しい学校について

学校が楽しいと思うためには、活動が必要と考える。5月の体育大会、10月の文化発表会においては、縦割りのブロック活動を行い、3年生と1・2年生それぞれに目的を持って臨ませる。子どもたちだけでなく、特に若手の教員にも、目的をしっかりと理解させた上で行事に臨ませることが課題だと考える。また、年間授業時数1,015時間をめざして様々な行事を削減してきたことで、子どもたちの自信に繋がる活動時間の確保が課題だと考える。また、日常生活において問題行動が発生した際に、正直に言える雰囲気づくりが大切と考える。

② 学力の保障と向上について

教員の授業づくりは進歩している。勉強が分かる子が分からない子を教えたり、みんなで作り上げる協働学習を進めたりしていく必要がある。中学校は放課後に部活動があり、放課後の補充学習は難しいため、到達度別に分けた少人数授業を行っているが、さらに細分化する必要があると考える。また、どこを苦手としているのか分析が必要である。諏訪中では、3年生の入試前の時期に、教員の担当学年や教科の専門性を問わず、課題が見られる生徒に対して数学の指導にあたっているが、このような個別指導を教育課程の中で取り組む必要があると考える。

③ 笑顔の先生について

教職員が最も働きがいがあると感じるのは、生徒の成長を感じたときである。また、勤務の評価である給与も、働きがいに繋がると考える。学年主任は1日あたり200円の手当があるが、それに加え、担任手当や役職手当が必要と考える。学校事務職員についても、年齢や経験年数に限らず、能力に見合った役職や給与が与えられるべきだと考える。

事務局	ありがとうございました。 お話しいただいた内容を踏まえて、ご意見等があればお願いします。
A委員	不登校になりがちな子や問題行動を起こしがちな子、学力面で課題が見られる子は、アンケートにしっかり取り組めない傾向にあるように感じます。持ち帰って行うアンケートや、○を付けて容易に回答できるアンケートでは、本当の声が拾えていないと懸念しています。
鳥飼小学校 日野校長	毎月の学校生活アンケートは教室内で実施しており、担任による聞き取り等を行っています。小学校高学年になると、委員ご指摘のとおり、素直に回答できていない児童がいるのは事実です。また、学校生活アンケートだけではなく、「学校の勉強がわかりますか」「学校は楽しいですか」といったアンケートも、学期末の朝の活動時に行っており、ある程度は本当の声が拾えていると考えています。
諏訪中学校 西村校長	正直に回答したくても回答できない生徒は確かにいるので、教職員だけでなく、保護者を含めた大人がアンテナを張ることが大事だと思います。アンケートについては、色々な角度から分析し、担任だけでなく複数の目で確認することを、各中学校において大事にしています。また、日頃から正直に言える雰囲気づくりが、アンケートに向き合う子どもの姿勢にも大きく影響すると思います。
鳥飼小学校 日野校長	教育委員会と一緒に取り組んでいる学校生活アンケートは紙面で行っていますが、学校独自で行っているアンケートは端末を使用するため、以前より安心して素直に回答できている様子がうかがえます。
B委員	教職員の超過勤務について、どのくらい把握できていますか。
諏訪中学校 西村校長	端末の持ち帰りについては、教頭がチェックを行っていますが、超過勤務の時間数は自己申告となっています。
B委員	教職員のインターバル時間は何時間ですか。
諏訪中学校 西村校長	1 1 時間です。
B委員	1 1 時間の間隔が確保できているか調査はされていますか。
事務局	出退勤を端末で行っていることと、自己申告があっていることから、客観的な把握はできています。インターバル制度は今年度からの導入となっており、7時に出勤するためには前日の20時までに退勤するよう、校長を通じて指導しています。
B委員	持ち帰って仕事をしていたら、本当にインターバル時間を確保できているかは分からないと思います。 また、教員間のいじめの問題もありますが、教員間におけるいじめに関する

る調査はされていますか。

諏訪中学校
西村校長

教員間のいじめに特化した調査は行っていませんが、学期毎に面談を行っており、そのなかで困りごとなどを聞き取っています。風通しの良い職場にすることが、課題のひとつと考えています。

B 委員

いじめについては、子どもたちも言い出しづらいと思いますが、先生方はもっと言い出しづらいと思います。特に、対面で上司に報告するのは難しいと考えます。

鳥飼小学校
日野校長

西村校長が言われたように、風通しの良い職場づくりというのがポイントになってくると思います。本人は言い出しにくいとため、周囲が気にかけるなど組織的に取り組む必要があると考えます。

B 委員

学校内でもストレスチェックはされていますか。

諏訪中学校
西村校長

しています。

B 委員

ストレスチェックに「相談できる相手」に関する項目がありますが、回答者に了解を得たうえで、学年毎や教科別などで評価されていますでしょうか。

鳥飼小学校
日野校長

全体でしか分析できていません。

B 委員

男性教員について、産休や育休は取得できていますか。

鳥飼小学校
日野校長

取得できています。

諏訪中学校
西村校長

取得できています。

C 委員

担任を持たせられない教員というのはどのような状況でしょうか。また、そのような教員に担任を持たせるために、現場としてどのようなことを心掛けていますか。

諏訪中学校
西村校長

保護者や生徒との関わりが苦手な傾向にあります。保護者や生徒とのコミュニケーション能力を高めるために、例えば、校内で問題行動が起きたときなど、保護者や生徒の教育相談をする場に担任と共に同席させて、学びの機会を作っています。

鳥飼小学校
日野校長

子どものせいにする教員には、担任を持たせられません。また、コミュニケーションが取りにくい傾向にあるため、こちらから良いところを褒めるなどの声掛けを行っています。

B 委員	教員のなかにも、ADHD やアスペルガー症候群の方がいると思われませんが、それぞれの教員の多様性、特性に応じた役割を担わせることが、育成・管理するうえで重要になると考えます。
鳥飼小学校 日野校長	そのとおりです。保護者対応の際には、複数で対応し、誤解が生じないように工夫しています。
B 委員	悪気はなくても、正直すぎて相手を傷つけてしまう場合があります。
市長	以前は、保護者からの苦情が多かった印象ですが、現在はどうですか。
諏訪中学校 西村校長	現在も変わりません。迅速かつ丁寧な初期対応が大切だと考えます。
鳥飼小学校 日野校長	初期対応を誤ると、校長が対応する事態に発展します。
D 委員	個別最適な学習や協働学習において、GIGA スクール構想で導入された端末は活用されていますか。
鳥飼小学校 日野校長	小学校高学年では、自分の考えをスプレッドシートに書いて、お互いに見合うということを行っています。教育長や教育 ICT 推進課から校長会に働きかけてもらっていることもあり、協働的な学びについては全市的に取り組んでいると思います。
D 委員	補充学習において、AI ドリルを活用し、自宅で個々のレベルに合った学習ができる環境を用意できればいいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。
諏訪中学校 西村校長	不登校の生徒は、自宅で端末を用いて、配信授業を受けています。また、全生徒が、宿題としてドリルパークに取り組んでいます。
D 委員	教員は、各生徒の進み具合を確認できるのでしょうか。
諏訪中学校 西村校長	確認できます。
鳥飼小学校 日野校長	ドリルパークについては、教員によって活用状況が様々でしたので、単元の最後に活用するよう取組を進めています。また、諸事情により授業が進められない場合などにも、ドリルパークを活用しています。
E 委員	良い教員になるために身に付けるべきことを教えてください。
鳥飼小学校 日野校長	経験を積まないと難しいかもしれませんが、保護者対応です。事例研究を行うといいかもしれません。

- 諏訪中学校
西村校長 受容性や、指導を素直に受け入れる姿勢が、人間的に大事だと考えます。子どもや保護者の意見を受け入れ、共感できる姿勢がないと、トラブルに繋がりがねません。また、問題が起こった際に、事実をきちんと把握して伝える力も重要だと考えます。
- A委員 新人の保育士の話にはなりますが、日頃から電話をかけることに慣れていないこともあり、保護者への電話対応を苦手としています。実際に電話を使って、顔が見えない相手とのやり取りについて、ロールプレイングを行っています。
- 市長 水害や台風の際の休校の判断に関して、課題や要望があれば教えてください。
- 諏訪中学校
西村校長 校区によって危険度が異なります。教育委員会事務局から提供いただいている雨量データを参考に判断していますが、空振りになってもいいので、全市的な取組を早めに決断いただけるとありがたいです。
- 市長 令和5年度の水害時には早めに判断できたと考えていますが、どうでしょうか。
- 事務局 他自治体よりも数時間ほど早く、休校の指示を出しました。
- 市長 今後も子どもの安全を最優先に、市として臨機応変に対応していきますので、引き続き学校現場のご意見をいただきたいと思います。
- 事務局 (閉会宣告)